

杜春会平成17・18年度総会 議事録

日時：平成19年6月16日（土） 15：00～16：00

場所：青葉記念会館4F大研修室

- 資料：(1) 平成17・18年度総会次第一式
(2) (仮称)杜春塾の創設に関するご提案
(3) [東北大学建築学報] トンチク0号

1. 開会 司会：永井康雄君（34回生）

出席者：34名（委任状573名） 正会員2,675名，特別会員56名の10分の1以上の出席で，会則18条により総会の成立を確認。

2. 会長挨拶（山田大彦会長・15回生）

議長選出：佐藤健君（平元修了）が推薦され満場一致で決定。

3. 議事

(1)～(3) 平成17・18年度事業報告および会計報告

伊藤和彦君（24回生）より事業報告，堀則男君（40回生）より会計報告，源栄正人君（23回生）より会計監査報告があり承認された。

質疑：会計報告【2】支出の部3）通信費における平成17年度と18年度の差は宅配便や郵便など利用手段の違いや料金体系の変動などによるものと考えられる。

(4)~(5) 平成19・20年度事業計画(案)及び予算及び支出計画(案)

伊藤和彦君(24回生)より事業計画(案), 堀則男君(40回生)より予算及び支出計画(案)が報告され, 承認された。

質疑: 1) 会員ネットワークの構築としてメーリングリストの活用やホームページの更新とあるが, これに関わる費用は支出計画のどの項目に該当するのか?

→現在は学内のサーバを用い, 教員によるボランティアで運用しているので支出は発生していない。

2) 支出計画中, 前年度繰越金が4,064,921円に対して次期繰越金が2,585,921円と大きく減少しているが, その理由は何か?

→現在のところ理由は定かではないが, 19・20年度は支出計画の通りに運用される予定。毎年の卒業生を考慮すると会員数は今後とも増加していくが, 会費納入率は芳しくない。経費削減に努めると共に今後の運営で対処したい。

(6) 杜春塾(仮称)について

本江准教授・櫻井一弥君(44回生)から杜春塾(仮称)の創設に関する提案があった。

都市・建築学専攻での設計教育の拡充と杜春会会員の交流を主な目的として,

- ・マガジンの創設(→創刊準備号として別添の「トンチク0号」)
- ・レクチャーシリーズ・交流パーティーの開催
- ・賞の新設

といった活動企画が提案されている。

活動を開始するに当たり, 学科創立50周年記念事業での寄附金の残金から200万円を活動開始資金として利用したいという申し出も含まれており, 今回の総会に諮られることとなった。

以下, 主な質疑応答(○質問→回答)。

○杜春会との関係は? → 「杜春塾」は事業の名称であって, 新しく組織を作るものではない。都市・建築学専攻および杜春会から人を供出することを想定しており, 杜春会からの資金援助も考えていない。支出の回収(収入)は事業内で行いたい。



- 主旨には賛同できる。運営の人はどうなる？運営委員などをボランティアで賄うのは大変では？ → 現在はボランティアで考えている。専攻内の人を中心に、杜春会会員からはオプザーバー的な立場で参加してもらうことも検討している。
- 運営委員会の具体的なイメージは？ → まだない。創刊準備号として「トンチク0号」を発刊した。今総会で活動が承認されれば、役員会の推薦なども受けながら委員会を結成し、活動開始したいと考えている。
- 事業規模が大きいのが、はたしてボランティアだけで出来るのか？50周年記念事業の200万円は杜春会の管理ではないはず。ここでお金の話はできないのでは？ → 50周年記念事業での寄附金には杜春会会員の多くの方からの寄附も含まれているので、今総会に諮ることとした。ボランティアの件については作業量がどれほどになるかまだわからないので、まずは協力を願いたい。

質疑応答の後、承認の採決となった。学科創立50周年記念事業での寄附金の残金から200万円を活動開始資金として利用する件については、寄附金の管理組織の承諾を得れば、杜春塾(仮称)の事業活動自体は認める、という旨で承認された。

4. 役員改選

会長山田大彦君(15回生)に替わり新会長に三橋博三君(18回生)、副会長渡邊豊君(19回生)に替わり大矢俊樹君(26回生)が選出されたほか、副会長小野英哲君(14回生)、松浦一浩君(18回生)、井上芳生君(21回生)に替わり新役員として石川善美君(19回生)、植松康君(25回生)、黒田秀夫君(27回生)が紹介され、承認された。以上、留任10名、新任5名。承認後、三橋新会長から会長就任の挨拶があった。

資料タイトル、「平成17・18年度杜春会役員(案)」→「平成19・20年度杜春会役員(案)」に訂正。植松康君(25回生)のメールアドレスは yu@venus.str.archi.tohoku.ac.jp に訂正。

5. その他

1) 東北大学工学部建築学科杜春会会則の変更について

近年の工学部・工学研究科の改組に伴い、「建築学科」の名称が公式に存在しなくなったため、資料にあるように会則を変更することが諮られた。主な変更は、

住所：仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-06

設置場所：東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
となる。

ほかに現在、郵便局での経理手続きの関係で会長名を明示することが求められている関係で、会長名を会則に記載する案が諮られたが、これについては「会長名記載の必要があるのか?」、「会長が変わる毎に会則を変更するのは煩雑」「会則には会長名を入れずに会則に役員名簿を添付すればよいのでは?」と言った意見があり、郵便局で確認して役員会で再検討することとなった。確認後のこの件に関する会則の変更については役員会に一任された。以上の事項が承認された。

2) 東北大学百周年記念事業行事予定

6月22日・8月25~27日に行われる東北大学百周年記念事業行事予定が紹介され、多数の参加が促された。また、寄附金の募集が引き続き行われており、広く募集が呼びかけられた。

閉 会

記録：三辻和弥(41回生)